

## 「小樽市公設水産地方卸売市場事業経営戦略(案)」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

1 意見等の提出者数	1人
2 意見等の件数	5件
3 上記2のうち計画等の案を修正した件数	0件
4 意見等の概要及び市の考え方	

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	「2. 将来の事業環境(1)取扱高の見通し」で、今後も同程度の取扱高を予測していますが、それは危険な気がします。 激減とは言わずも、多少は減少する場合を想定して見通しを行った方が安全ではないかと思えます。	ご指摘の通り、市場取扱魚種ごとの数量には多少の変動はあると思いますが、本市場の主力であるスケトウダラ、ホッケ、カレイなどは、現操業体制が継続されることで、取扱高の大幅な落ち込みはないものと考えております。 また、売上高割使用料収入についても、加工業向けの出荷から鮮魚販売向けの出荷への販売転換を促進することで付加価値の向上が図られ、これまでと同水準の実績を維持できるものと見込んでおります。
2	上記同様、(2)で売上高割使用料収入を過去の実績と同水準を見込んでいますが、新型コロナウイルスの影響で社会環境が大きく変わっており、これも最悪な場合を想定した方が安全だと思えます。	
3	「(4)組織の見通し」について、指定管理者制度導入と施設の大規模改修の間に何か関係性があるかのような記述になっていますが、どのような因果関係があるのか理解できませんでした。	本市場は、施設の老朽化や卸売場が2箇所あることが課題となっており、将来的に施設の統合による大規模改修が必要になりますが、その際には、民間活力を利用した指定管理者制度導入と合わせて施設の集約化も実施することが効果的と考えることから、このような表記としたものであります。
4	「3. 経営の基本方針」で経営の視点だけで経費削減が行われると、品質低下につながるのではないかと不安に思えます。 無理なく現場職員が本業を遂行できるような観点で、コストダウンを検討する配慮が記述されていると安心に思えます。	安全・安心な水産物の産地市場という本来の役割を今後も果たしていくことが経営の基本と認識しており、そのため、収支改善を図るという点からのコストダウンも含めた様々な経営努力が必要になります。その実施に当たっては、ご意見を参考にしながら進めたいと考えております。
5	様式第2号の投資・財政計画に表記されている区分の中で、「その他」が数値の大半を占めるものが多いのが気になりました。 「その他」で表記するにしても、「その他」の中で、最も多く占める要素の記述もあった方が分かりやすいと思えます。	この様式は総務省のガイドラインに基づいたものであり、収益的収入の営業外収益における主項目である市場利用団体等の共益費負担金や、収益的支出の営業費用における主項目である市場の管理費は、「その他」に含めるように示されております。
6		

\* 同じ内容の意見が複数ある場合は、「意見等の概要」の最後に件数を記載してください。

\* 計画等の案を修正した場合は、「市の考え方等」の欄に修正箇所を併せて記載してください。